

高取朋代（新潟産業大学）
 ・北信越学生空手道選手権大会女子個人2位
 ・北信越地区大学空手道新人選手権大会女子個人優勝

風間由美・高取朋代（新潟産業大学）
 ・北信越地区大学空手道選手権大会女子団体優勝

新潟産業大学男子空手道チーム
 市川信元、角田宗孝、枝村和紀、
 松本大、齊藤泰崇、羽賀洋

北信越大学空手道選手権大会男子団体優勝

服部和彦（新潟産業大学）
 ・北信越学生空手道選手権大会男子個人2位

甕諭（新潟産業大学）
 ・北信越学生空手道選手権大会男子個人型の部3位

（パワーリフティング）

大河一由
 ・第19回新潟県パワーリフティング選手権大会スクワット・ベンチプレス・デットリフト優勝
 ・第19回北信越パワーリフティング選手権大会スクワット・ベンチプレス・デットリフト優勝

（ボクシング）

岡田有由（新潟産業大学）
 ・北信越国民体育大会ボクシング競技成年バンダム級優勝

◎ 嘉 勵 賞

◎奨励賞	田尻ホープス
柏崎はまなす婦人バレーボールチーク	中村千夏、土田美紗、小林早苗、高橋里恵、須田千鶴子、高橋利浩、岡島輝夫、松原由佳、上野綾美、藤林泰男、中村ひとみ
小林澄子、小林ミツ子、佐藤文子、小越恭子、渡辺郁、町田トシイ、松岡栄子、小網優子、名塚ナミ子、保坂淳子、浅間昌子、池田カツ子	斎藤夏樹、亀尾靖敵、堀俊介、岸好美、岡下万里子、斎藤治也、吉野雄一、斎藤正由、坂井達也、村田昭、岸和子、栗林昌宏、池田諭
・第5回全国家庭婦人バレーボーリーそじ大会 Aプロック 3位	・第6回新潟県ソフトバレー北信越ブロックフェスティバルトリムの部 3位
・第6回全国家庭婦人バレーボーリいそじ大会新潟県予選会Bプロック 優勝	・第5回全国ソフトバレーファミリースティバル新潟県予選会 2位
田尻ホープスつばさ	・第6回新潟県ソフトバレーボール大会ファミリーの部 優勝
齊藤祐季、高橋里恵、岡嶋千穂、中村美喜江、須田千鶴子、斎藤久江、高橋利浩、岡島輝夫	・ソフトバレー北信越ブロックフェスティバルファミリーの部 優勝
・第5回全国ソフトバレーファミリーフェスティバル 1位グループ 2位	・ソフトバレー北信越ブロックフェスティバルファミリーの部 3位
比角羽森ソフトバーボルチーム	・下越オープンテニス シングルス45才以上 優勝
坂井達也、栗林昌宏、阿部沙弥香、池田智恵、小林八重子、北沢祥子、渡辺清勝、池田諭	・片桐清一・村山政昭
・第5回全国ソフトバレーボールファミリーフェスティバル3位グループ 1位	・悠久オーブンテニス ダブルス45才以上 優勝
田尻ホープスよつわ	・清野 澄子(柏崎クラブ)
加藤舞子、前沢美春、上野祐香、山岸望、吉田実央、小林奈保子	・小林徹、江口保、内山正文、高橋忠一郎、小林勝美、小林良子、塩浦美栄子、斎藤美恵子、黒崎純子
・第4回新潟県小学生ミニソフトバレーボール大会女子五年生グループ 優勝	・第9回新潟県高令者ワンバウンドバレー大会 Aクラス 優勝
田尻ホープスのぞみ	・第9回新潟県高令者ワンバウンドバレー大会 Aクラス 優勝
和田ゆかり、多賀谷アリ沙、貢子実由紀、斎藤祐季、長原恭子	・第4回新潟県小学生ミニソフトバレーボール女子二年生グループ
・第2回全国ソフトバレー・シルバー・フェスティバル新潟県予選会 優勝	・第4回新潟県小学生ミニソフトバレーボール女子二年生グループ
坂井真由美、岡下万里子、渡辺清勝	・第4回新潟県小学生ミニソフトバレーボール女子二年生グループ
比角ソフトバーボルチーム	・第4回新潟県小学生ミニソフトバレーボール女子二年生グループ
関矢登、吉野雄二、佐藤辰雄、町田トシイ、小越恭子、小林穆、原幸子、小林澄子、吉田幸男、坂井真由美、岡下万里子、渡辺清勝	・第4回新潟県小学生ミニソフトバレーボール女子二年生グループ



◎競技者嘗

・第9回新潟県高令者ワンバウン
ドバレー ボール大会 B クラス 優勝

・第6回新潟県スポーツフェスティ
バル ワンバウンドバレー ボール
B クラス 優勝

比角ワンバウンドバレー チーム
安中長一、赤堀貞作、松谷美枝
子、近藤正子、逢見千代子、加
藤弥栄子

・第6回新潟県スポーツフェスティ
バル ワンバウンドバレー ボール
B クラス 2位

倉部知博、山本穂高（柏崎高等学校）
・新潟県高等学校選抜インドアソ
フトテニス大会 優勝

平成六年度第一回 コーチングサミット

基調講演 I

民族とスポーツ

松浪健四郎

専修大学の松浪健四郎です。私は大学教授ですが、チョンマゲ頭でテレビのCMに出演しています。大学の先生らしくないかし、その企業は、それなりの利益をあげています。

スポーツでも、例えば東京オリンピックはスポーツの祭典であると共に、世界の東京に変えた起爆剤でもあります。したがって、その波及効果、国家的事業として国文化レベルを向上させることに役立つたのです。柏崎から一人の名選手が出たとすれば、その波及効果、宣伝効果は極めて大きいことを知つて下さい。

私は日本人の常識を越えてC Mに出ました。先生らしくないと言われるかも知れません。私は、その「らしさ」からはみ出し、教授どちがう分野で仕事をして有名になりました。

人間、自分の持つていて能力を徹底的に伸ばしてみると、そこには、人のため、学生のため

などというきれいなことではなく、「自分のために」の心構えがない、奇抜な発想とその実践に情熱を注ぐことです。その情熱が欲しい。それには、らしさを失ければできない。口にださずに、出世、有名という秘めた闘志が、奇抜な発想とその実践に情熱を注ぐことです。その情熱がなければ選手もつきません。

自分のもつてている才能、能力、手腕、個性を生かすことが大切だということです。

話題を少しかえますが、スポーツについて考えてみます。日本では運動競技と訳し、(武士道)にちなんで優劣を争い、そこ

に人間性の練磨があり、教育的価値があると考へた。しかし、語源からしてスポーツは、気分転換であり、ゲームであり、娯楽なんです。ストレスを溜めないことです。勝敗は別にして、集つて楽しくやる——これが生涯スポーツ、優劣を決める試合でもあります。ストレスを溜めることで、面白味がない。あきて逃げる。能力がないわけじゃない。画一的な練習ルールに耐えられない。強制される没必要な人が、ものになる可能性を持ち、さわやかさを味わうことになります。チヤンピオン

組織、集団の維持管理には適するが、一人一人の個性を伸ばし、能力の全開にはならない。

しかし、こうした伝統、習慣といふものは簡単に改革は難しい。伝統について少しお話しします。日本に仏教が導入され、お釈迦様が崇拜され、その体形を頼りがいがあるものとしましました。以来、日本人が信仰する虚構の神々や人形は、肥満体であ

などというきれいなことではなく、「自分のために」の心構えがない、奇抜な発想とその実践に情熱を注ぐことです。その情熱が欲しい。それには、らしさを失えばできない。口にださずに、出世、有名という秘めた闘志が、奇抜な発想とその実践に情熱を注ぐことです。その情熱が

本人は個性を発揮しにくい、下手くそな民族性をもつていています。(スポーツ人間学から)

日本の村社会制度と相撲の土俵ルールは相通ずるものがあります。農耕民族としての日本の村社会では、土俵の輪から出たら負けとなる。生きていけない。

相撲の仕切りアンウンの呼吸は、相手の立場を大事にするところなんです。お互いに自分を殺して相手にあわせる——日本の民族性にあつて、個性を發揮させることは難かしいです。

しかも日本は、武士道の國、

今も武道が行われ、稽古が盛んです。スポーツでは練習と言つてますが、繰り返しの単純作業で、面白味がない。子どもはあきて逃げる。能力がないわけじゃない。画一的な練習ルール

に耐えられない。強制される没必要な人が、ものになる可能性

思つて努力する。個性の承認、

助長、開化である。しかし、日

ります。肥満体ということは、運動をしない。自分を律することができない結果の人間体です。

これに対して、古代ギリシャでは、古代オリンピックが行われましたが、その祭りの神々は、人間に必要とされる諸能力を持つて、調和のとれた美しい肉体で表わされています。オリンピックで成績をあげることは、その神々に近づくことであると、尊敬されました。ギリシャでは運動することは、知識の上に行動力をプラスするとし、知識と行動の合体した人間、文武両道を大事にしたのです。すぐれた肉体、美しいからだをつくる発想は、思想、哲学、芸術あらゆる分野で近代に受け継がれてきました。

しかし、こうした伝統、習慣

を記録。日本の林下茂は、中指の第一関節を失ったことから、

見えたか見えないか、気付いているか、いないかの違いだ。と思ひます。

人間誰もが障害をもっている。

見えないか見えないか、気付いているか、いないかの違いだ。と思ひます。

見えたか見えないか、気付いているか、いないかの違いだ。と思ひます。

それを武器に、おとりにする工夫さえできれば、自分も目の前にいる子ども達にも大きな希望を抱かせることができるのでは

ないのか、私はそう思います。

基調講演 II

強い選手を育てるには

新潟県バトミントンコーチ

曾衛斌

私は、中国の福建省の出身。鳥取大学に二ヶ年留学、今春、新潟県にバトミントンコーチとして派遣されました。中国では、バトミントンのナショナルチームに所属していましたので、最初に中国のスポーツに関するシステムをお話しします。

スポーツ選手の源は、一般小学校などから選ばれた子どもが学ぶ少年体育学校で、国の政策で学校教育が行われます。全寮制で半日勉強、半日練習の日課です。優秀な子どもは、二~三年で、更に選抜されて、省の体育学校に入学します。ここでは終日、スポーツのトレーニングを日課とします。勉強は自主学習となるので心配もありますが、体育学校の生徒は、国家が就職その他の身分の保障などがなされるので、選手は練習に専念でき、親も安心して預けることができます。

更に全国の各省の体育学校から厳しい選抜をうけ、中国のナショナルチームに入るわけです。実績、素質、技術、向上意識など選抜条件は大変きびしいのですが、私は運もよく選ばれたと

思っています。中国に比べ日本では、スポーツが学校や企業を基盤に行われ、ある指導者や選手が沢山いることに感心させられました。

そうした中で、日本にきて一番感じたことは、「競争意識」のことです。中国では、小さい時から選手のコート内のライバル意識については強く教えられます。試合は勿論、練習でも競争意識の向上のため、いろいろの手段が用いられ、成績によって待遇にも大きな差が与えられます。ですから選手は、こうした競争的環境に勝つため、練習メニューを工夫したり、休日返上の練習やライバルの技術分析など、強くなるためのあらゆる努力を厭わず、生活のすべてが練習に集中、統一されています。ナショナルチームとなると、成績による差別もなく、競争を強制されることもあります。他の選手も「競争する気のない人間は、ここにはいるにいられない」と言つて、練習に徹して努力します。

こういう環境で育った私から見ると、日本の子どもは平和で、やさしく感じます。先輩には負けて当然、なかには勝っちゃ悪いと思っている選手もいる。自分より強い相手にも向っていく

強さがない。でも競争しない限り競技スポーツは成立せず、強くはならないと思います。

更に、若い選手は、指導者に頼り過ぎ、あまりに無意識に練習をしているのではないでしょうか。何年もバトミントンをやっていても、自分の技術の特徴や弱点を分っていない。「考えたことがない」の返答にびっくりします。相手のあるスポーツは、技術や体力の戦い以上に「知恵」の戦いが大切です。自分をよく知った上で、相手の弱点を見極め、戦略」をもたなければなりません。勿論、戦略は指導者のみに頼らず、選手自身の知恵が不可欠です。自分を知つていなければ、普段の練習でも、どうしたら強くなれるのか分つていい。指導者に言われたことや今迄のスケジュールでなく打ち合っているだけでは、試合になつても頭がカラになり、勝つことばかり考え、どうしたら勝てるか考えないからすぐ緊張してしまう。

このように選手自身の強くなりたい意欲とそのための練習を張してしまいます。

選手自身が考え行動化しないことに問題が多いと思います。

ですから指導者は、まず興味と向上意識をもたせることが課題です。競技スポーツは苦しい。だから自分から求めて練習しないとやつていかれない。たまら

ず好きで、自ら目標を定め、強くなろうと努力すれば、結果、楽しさも生まれます。

指導者と選手の信頼関係も大切です。そのためには盲目的練習ではなく、指導者は、なぜ必要にたって指導法を工夫すると共に、選手も納得するまで、質問、反発し、追求する気持ちが大切です。県内の講習会等では、私の日本語の説明の確かめとともに理解度を聞いたりします。ですが、二%位しか質問は出ない。分ったのかと思うと、休憩時間の質問は恥しいのかも知れませんし、疑問、反発がない方が多いようです。質問は自分発見のきっかけになり、自信もにつながるので、分らないまま練習することは恥かしいことを理解させると共に指導者も気軽に質問ができる雰囲気づくりと素直に聞いてやることに心がけて欲しいと思います。

日本のスポーツ選手の練習時間等は中国や韓国と比べ少なくない。問題として、日本の子ども達に試合をさせ過ぎるのではないかと思います。始めて何か月も経たずに試合にでる。経験も大切だろうが、でるからには

長期的展望に立った育成が大切だと思います。中学や高校の先生は三年間で自分の教えられる範囲内で短期間の成果を期待して指導しているが、子どもにとつて決して幸せとは言えません。むしろ、中学と高校の前半を基礎段階として、試合、勝敗より基礎練習に時間をかける方が高校の後半なり実業団で伸びると思います。指導者も子ども達も練習の時間や量より心のゆとりをもって練習ができるし、中学生、高校、実業団の一貫指導ができる成果があがると思います。

大阪の四条畷学園のバトミントンが全国大会で圧倒的強さを示しているのも小学生から大学までのつながり指導の結果です。日本も新潟も素質のある選手や優秀な指導者は、たくさんいるのですから、インターハイでも国体でも「県代表」で出場することを考え、県の中で指導者の力をまとめることが何よりも大事なことであり、選手育成で問題となる課題の積極的改善をする努力を積めば、全国や世界を制することは十分にあり得ると思います。

私は、スポーツは国籍に関係なく全世界の選手が競争すべきだ、肌の色、言葉の違いにかかるらずお互いの心をつなぐことができるの唯一スポーツだと思います。ありがとうございま

体育・スポーツ振興、強化対策

柏崎体育団

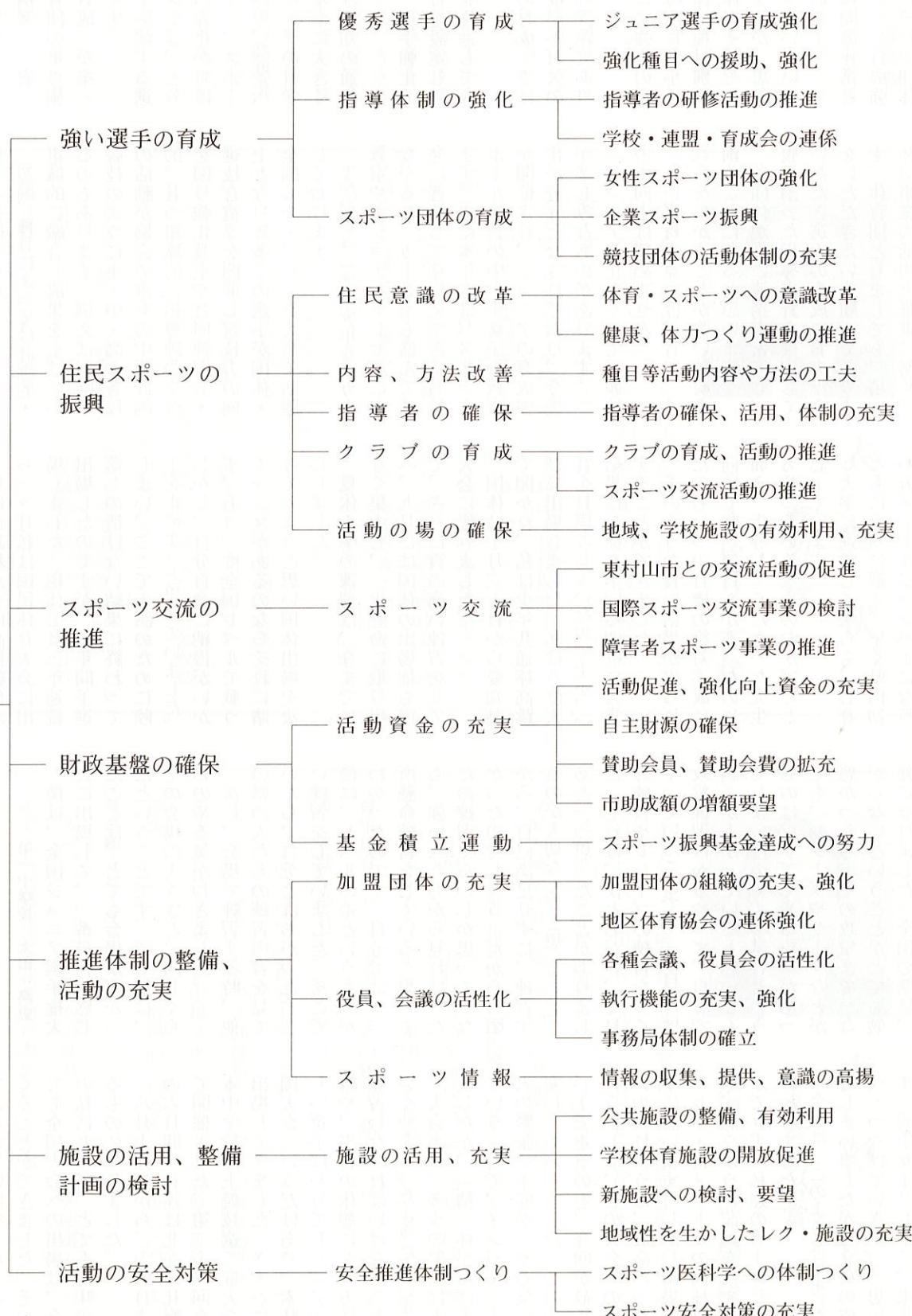
スローガン

いきいき元気
柏崎体育団

推進施策

推進項目

推進事項



ジュニア選手の育成を願つて

各種団体との連携を!

強化部長 柄澤 省

本年度、柏崎体育団の重点施策に「強い選手の育成」が第一に掲げられております。

全国規模の大会で活躍する選手、優秀選手の育成では、とりわけジュニア選手の強化が叫ばれております。しかし、スポーツの多種多様化と技術の高度化、それに伴うトレーニングの科学性、合理性が競技水準に大きく影響していることは周知の通りであります。

柏崎体育団では、選手強化の基本として重点種目を設定し競技向上への事業を推進しております。

特に「強い選手の育成」ではジュニアの強化育成が不可欠の要件であり、重要な課題であります。

では柏崎のジュニア強化の現状はと問い合わせるに各小・中・高校の学校団体や種別団体・地域の育成団体がそれぞれ努力されておられます。思うような成果が上がっていないのが実状のように思います。

そこで、各種団体間の連携と化をみたとき、それぞれの団体が種別協会と連携し団体合っ

て育成活動がなされているかが、重要となります。残念ながらまだ十分とは言えがたい認識をせざるを得ません。

勿論、種目によっては計画的・組織的に融合し成果を上げているものもあります。例えば、陸上競技のように小・中・高の各校の活動が協会の事業の中で計画的、且つ組織的に指導陣の交流を図り強化教室や合同練習会・選抜合宿等を開催し競技力の向上となり数多くの選手が国体・全国大会・ブロック大会で活躍しております。

また、ジュニアの少年サッカーカー教室やナショナルトレセンにつながるサッカー教室も盛んで発展に普及して芽生えてきております。更に本年度はバスケットボール協会の中学生女子の教室が開催され、ジュニアの育成強化が着々となされており、今後が楽しみなものがあります。

ジュニア強化なくして、競技力の向上は望めません。

いい素材を見つけ、育て、それらを生かすことが強い柏崎を創ることになると思います。

各団体が更に連携を密にし、腹を割った指導方針を確立していただきたいと願っております。体育団としましても、精一杯の事業の活用と推進に努めていきたいと思っております。

国体に出場して

一目標達成への執念

柏崎高等学校 安井 真

全国ジュニア卓球に

出場して

全国の壁は厚い

第一中学校 太田 高史

僕は、全国ジュニア選手権大

会に出場して、一番最初に感じ

たことは、とても会場が広かつ

たということです。でも僕は、

その会場の大きさと、同じぐら

いのやる気がわきました。

次に、会場で練習する時、他

の県の人たちの練習内容を見て

いたら、自分とはちがつたすご

い練習をしていました。そこで

僕は、レベルの差というものが

わかったのです。自分では、一

所懸命練習をしていると思って

も、強い人たちから見れば、た

だの練習ぐらいしか思っていな

かったのでしょうか。だから日頃から、自己満足せず、練習す

るのが大切なんだと思いました。

あと一つ思ったことがあります。

た。それは、僕どちがい、守り

の練習やレシートの練習を多く

やっていたことです。僕自身は、

攻撃練習ばかりやって、自分で

調子が上がっていると思いこん

でしまったのです。試合という

ものは、すごく光る攻撃があつ

ても、レシートやサーブなどが

悪かったら、その攻撃までつな

がらないということがとても勉

強になりました。全国の壁は、

全国大会に出場して

刈羽中学校 加藤久美子

私は今年、一生忘れる事のできない思い出を、たくさんつくることができました。その中でも全国大会への出場は、今後私のにとって、とても意味のあるものになりました。

八月十九日から二十四日までの六日間、私達は北海道札幌市で開催された、第二十一回日本中学校陸上競技選手権大会に出場してきました。さすがに全國大会というだけあり、素晴らしい選手ばかりでした。アップ

時や、当日の休憩にとり方は、見習わなければいけないことがあります。

大会当日。多少の緊張はあるましたが、『精一杯がんばる』

という一言で、メンバー一人一人の緊張や不安が、やる気へと変わっていました。このメンバーで走るのも、今回が最後ということで、この大会への気合の入れようは、最高だったよ

うに思います。しかし結果は、リレー・百メートルの両種目とも、思うように記録をだすことができず、私達の暑すぎた夏は終わりました。

今回は、このような結果になつてしましましたが、今後の成功へとつなげていきたいと思いま

す。刈田女子リレーは、来年も

精一杯がんばります!

**ワールド・シニア・ゲームズ
に参加して**

関矢 登

本大会は五十才以上が対象です。勝敗だけにとらわれず、ゲームを楽しみ多くの仲間と交わり健康で豊かな人生を送ることが主眼です。日本代表の比角チークはバレーボールの部に参加しながら、やがて正式種目に組み込ませた日本バレー協会の要請を受け、光栄であると共に初めての海外紹介の責任の重大さに途惑いを感じるのです。

ATTENTION! SOFT VOLLEYBALL? のチラシやポスターや新聞にも掲載されて日本選手団への関心は高まっておりました。片言の英語でどんな指導が出来るか不安でしたが、初日は明るく積極的な中学生に支えられて大好評のうちに終了。すっかり自信をつけた私共が、第二日・第三日目へと各国選手に、模範試合やゲーム指導を心を込めてやりました。誠心誠意やつたことがよく理解されたのか、翌日の新聞が写真入りで報じてくれました。閉会式のセレモニーで参加者全員に紹介され万雷の拍手を受け感激そのものの私共でした。

私共が九日間に学んだことは沢山あります。その一部を紹介しましょう。本大会はジルバー

を対象ですから、各種目にハンデーが工夫されていること。大会運営が地元ボランティアと選手であること。いくつもの種目に参加できること。ゲームが午後から始まることなどです。

第二の国際親善の目的は果せたのか、比角選手団は、綾子舞の手拭・紙風せん・千代紙等を持参してボランティア・役員・各國選手にプレゼントして小さな親善を果すことが出来ました。

第三の私共の目的は観光です。ユタ州は、宗教上から酒・タバコ等の刺激物を口にしないだけでなく、教育熱心で犯罪も少なく、穏やかで親切な人々が多いことを知りました。真摯なユタ州は全米の模範生であると聞され、本大会の創設意図がうなづけます。また自然景観は、ロックの西側のユタ、ネバダ、アリゾナは砂漠です。年間に一週間ぐらいの降雨です。しかし荒涼とした広大な地に豊富な水と緑豊かな町が造られているのです。

ATTENTION! SOFT VOLLEYBALL? のチラシやポスターや新聞にも掲載されて日本選手団への関心は高まっておりました。片言の英語でどんな指導が出来るか不安でしたが、初日は明るく積極的な中学生に支えられて大好評のうちに終了。すっかり自信をつけた私共が、第二日・第三日目へと各国選手に、模範試合やゲーム指導を心を込めてやりました。誠心誠意やつたことがよく理解されたのか、翌日の新聞が写真入りで報じてくれました。閉会式のセレモニーで参加者全員に紹介され万雷の拍手を受け感激そのものの私共でした。

私共が九日間に学んだことは沢山あります。その一部を紹介しましょう。本大会はジルバー

思ひをこめて「初孫の里帰り」という言葉で挨拶をさせて頂いた。三つの体操の発表は少人数ではあったが、伸びやかに生き生きとした演技をすることができ、男性軍のVサインに迎えられ、一同満足してテントに戻った。

その後の東村山市の二百六十名による「駆動一筋」と「フック・トウ・ア・ソング」の演技は洗練された美しいものであり、まさに圧巻であった。さすが二十四年の歴史を持つ軽体操連盟の演技だと、その足跡の偉大さを見る思いがした。

振興部発足から満三年、体操の輪の拡大と質の向上を目指して立ち止まらず、より着実に歩みを進めたいと考えている。
△女性の体育・スポーツ振興部 部長 藤田克子記

十月十日、快晴の空の下、女性の体育・スポーツ振興部率いる二名による体操が、東村山市のグラウンドで披露された。

「ウイ・ア・ザ・チャンプ」を作成し、参加者を募集し、九月十日、ようやく一回目の練習会を持つことができた。回数を追うごとに参加者の心は燃え、納得のいくまで話し合い、見せ合いで、動き合って、五回の練習会は出発日の前日まで行われた。

東村山市軽体操連盟のご指導を受けつつ四年十月「楽しき仲間たち」「おおシャンゼリゼ」を完成、翌六年十月市民運動会での七百名による発表、そして今日ここでと思った時、万感の

東村山市の大運動会に参加して

野田体育協会 田辺 貴司

平成六年十月十日スポーツ姉妹都市である東村山市市制施行三十周年記念行事の大運動会に参加いたしました。

我々野田体協は平成二年に行われた柏崎市市制施行五十周年の記念行事の運動会で東村山市の選手団と応援席が隣どうしになつたことがきっかけで、グランドゴルフの交流大会で上京したり、またそのお返しとして野田体協の運動会に招待したりと交流をつづけてまいりました。



東村山市のグラウンドに響いた

**「ウイ・ア・ザ・チャンプ」
の“足音”**

十月十日、快晴の空の下、女性の体育・スポーツ振興部率いる二名による体操が、東村山市のグラウンドで披露された。

「ウイ・ア・ザ・チャンプ」を作成し、参加者を募集し、九月十日、ようやく一回目の練習会を持つことができた。回数を追うごとに参加者の心は燃え、納得のいくまで話し合い、見せ合いで、動き合って、五回の練習会は出発日の前日まで行われた。

東村山市軽体操連盟のご指導を受けつつ四年十月「楽しき仲間たち」「おおシャンゼリゼ」を完成、翌六年十月市民運動会での七百名による発表、そして今日ここでと思った時、万感の



運動会当日は午前中の各種目に出場しましたが、なにせ混成チームでぶつけ本番のため成績の方は今一つといったところでした。

さて、この運動会は各町内それぞれ予選を行い、選抜チームが出席していることもありレベルは非常に高く、スマーズな大会運営が図られていました。最後に二日間にわたり我々お世話をされた東村山市の体育協会関係者の皆様に感謝申し上げ感想いたします。

平成6年度・柏崎体育団賛助会員御芳名

(順不同、敬称略)

株)アーケベル柏崎支店	柏崎電工(株)	佐藤塗料(株)
藍沢医院	株)柏崎生コン	三石情報システム(株)
アオキ住建(株)	朝日木材(株)	株)品銀鉄工所
青山工芸(株)	アピアテニススクール	シモダ産業(株)
柏崎郵便局	柏崎ハーネス(株)	株)北川製作所
柏崎臨海工業協同組合	柏崎三菱自動車販売(株)	新華
加藤スプリング製作所(株)	金井建設(株)	新光開発(株)
イトヨー力堂丸大柏崎	力不政(株)	株)上洲屋
犬井内科医院	株)キタコーコレーシヨン	新沢歯科医院
伊部工務店	北日本エンジニアリング	スイミングアカデミー
株)伊山組	キムラ・テクニックス(株)	関柳コンクリート工業(株)
株)植木組	木村工業(株)	創風システム
内山整形外科医院	久松	丸山酒店(有)
株)大島鉄工所	(有)共和印刷	丸山建具工業所有
エム・ディー・ケー(株)	株)熊本紙器印刷	北陸クリーニング
株)オーケ	クラウン宝石(株)	松島(株)
大家	株)研精舍柏崎工場	丸高建設
(有)おくい	光月堂	北越空調(株)
オルガノ(株)	竹内電設(株)	株)北越銀行柏崎支店
海津塗装工業所	株)竹田製作所	ブルボン(株)
株)柏崎インサツ	第一旅行サービス	株)割烹ささ川
株)柏崎魚市場	株)ティクス柏崎工場	佐藤ヒューム管(株)
柏崎運送(株)	帝国石油柏崎鉱業所	株)高橋商店
東北電力(株)柏崎発電所	天屋旅館(有)	株)宮田才吉商店
東信システムハウス(株)	柏東会	水野紀一
電植センター柏崎事業部	柏陽鋼機(株)	丸山酒店(有)
東北工業(株)	橋崎工業(株)	宮田才吉商店
秦医院	ハタ・フォート	村田建設(株)
八幡開発(株)	柏新時報社	村田石油店
原酒造(株)	日本メック工業(株)	明治乳業(株)柏崎分工場
株)コロナ	日本通運(株)柏崎支店	明美堂(株)
近藤康信	日本メック工業(株)	最上屋(株)
サイカワ(株)	日本メック工業(株)	山梅(有)
(有)小山電機工業所	電気セントー柏崎事業部	山崎興業(株)
株)コロナ	東京電力柏崎刈羽発電所	大和運送建設(株)
登久満	東信システムハウス(株)	大和商事(株)
徳間商会	東北電力(株)柏崎発電所	山崎工業(株)
株)中沢建設	吉田鉄工所	山崎工業(株)
光商事(株)柏崎支店	吉田鉄工所	ユア・テック
株)東山工務店	吉村鉄工所	リヤマ(株)
平野内科医院	吉村鉄工所	リケン・リケン(株)
廣川屋	理研機械(株)	リケン・リケン(株)
富士産業(株)	リケン・リケン(株)	リケン・リケン(株)
藤林コンクリート工業(株)	リケン・リケン(株)	リケン・リケン(株)

平成6年度感謝状受賞会員

本団の賛助会員として財政的ご支援をいただいている会員の中で、昨年まで十年間継続してご協力賜った方々に感謝状を差し上げてきましたが、

今年度は次の方々に新春懇親会の席上、お礼を申し上げま

す。

・久松様

・上洲屋様

・新華様

・柏崎力マラセンタ様

・スイミングアカデミー様

・柏崎臨海工業協同組合様

・海津塗装工業所様

・事務局より

・パレーボールの国際試合、

全国フェスティバル、そして、

二百チーム参加の北陸バスク

トボール大会などビックリベ

ントが市民スポーツの起爆剤

に一と心から祈る。

・東村山体協30周年記念事業

で先輩格と呼ばれつゝ当市の

誠意と組織力に頭下っ放しの

柏崎だった。